



# ライフあけぼの

## 平成29年9月号

発行所 一般財団法人 榛名荘 介護老人保健施設 あけぼの苑 No.65



# あけぼの苑家族の会 市民認知症公開講座を開催しました！！

## 1部講演会 2部寸劇認知症の方の理解と介護方法(ユマニチュード)の手法を取り入れた

去る7月28日(金)に高崎市榛名福祉会館で、認知症講座を開催いたしました。

2部構成で、第1部、群馬医療福祉大学短期大学部、片桐幸治教授による認知症のご講演。第2部、あかりちゃん劇団による寸劇を行いました。

当日は、家族の会会員、一般市民のご来場の方、併せて40名定員で開催した所、満席の40名で開催できました。ご来場頂きありがとうございました。講座の様子をご紹介します。

群馬医療福祉大学短期大学部

第1部 片桐教授によるご講演の様子

～認知症の人と一緒に暮らすということ～



あかりちゃん劇団 第2事例

『服を脱いでくれない』時のケア対応はどうする？



第2部 冒頭 あかりちゃん劇団による映画『認知症と共に生きている人の気持ちを理解してみましょう』鑑賞中の様子



あかりちゃん劇団 第3事例

『近づく時の注意点は何か？』



あかりちゃん劇団 第1事例

『ご飯を食べてくれない』時のケア対応はどうする？



参加者の皆様にアンケートにご協力いただきました、一部をご紹介します。

家族が認知症になった時の対応の難しさを感じます(母の介護で感じた例)認知症になって欲しくないという気持ちが先に出てしまうからではないでしょうか。つい、否定的な言葉や対応になってしまいました。(本人もなりたくてなったわけではないのに)片桐先生の講演やあかりちゃん劇団の寸劇で大変勉強になりました。

久しぶりに講義を受け、大変頭の運動になり良かったと思います。また、福祉に興味を持って頂く為に、高校生にも話を聞いて貰ったらよいのではなど思ったりしました、良き高齢者生活が出来る事が願いです。

あかりちゃん劇団、分かり易く良かったと思う。基本の部分からの劇だったので、理解出来て学習になったと思います。

認知症について何となくわかっているような。でもどうしたらいいのか難しいです。そういうことについて聞いてみたいと思っていたので、本日の講座に参加できてよかったです。ありがとうございました。

コメントのご協力ありがとうございました。  
次回をお楽しみに・・・

## 介護研究シリーズ2 「在宅生活」～その方が望む暮らし～

続き～そのような経緯もあり、老健ショートステイの利用を開始しましたが利用当初は、易怒的であり大声や無断外出、他ゲストとのトラブル等が見られていました。

苑での対応として

- ①紙粘土のダルマ作りを企画し実行する。
- ②声掛け頻度の工夫。気分変動が激しく、初期には声掛け頻度を多くして対応するが、不満を助長してしまうことがあり、慣れてきてからは少しずつ頻度を少なくして対応する。
- ③無断外出時の対応。帰宅願望を強く訴える時には、屋外の散歩や傾聴にて対応する。
- ④精神科受診を行っており、興奮状況や言動を家族、居宅ケアマネに報告し、精神科受診時に医師へ報告を行う。
- ⑤地域ケア会議を開催し、A様に関する情報共有をする。初めは興奮状態であったこともあり、支援する側もどうしたら良いのかわからない状態だったが情報共有・役割分担をおこない、共通目標を持ちサービス調整を行う事が出来た。

**結果**～数回のショートステイを経験する事により徐々に大声を出すことや不満は減少していき、ほぼ見られなくなる。作ったダルマを子供に見せたいと嬉しそうに話され、作り方を他利用者へ教える事で利用者同士の交流が生まれた。お酒、たばこの訴えが聞かれる事はなく、たばこの臭いがする事もなくなった。在宅時にも禁酒、禁煙が継続され近隣とのトラブルは聞かれなくなった。

**結論・考察**～夫の保護のもとでの生活であったため、夫の死去に伴い精神的支柱の喪失、孤立化、生活困難となったA様が老健を利用し、集団生活や介護スタッフとの交流を通じて徐々に性格に軟らかさを見せる様になり、様々な援助を受けながら社会的生活を営んでいる1例を紹介した。知り合いや友達を作っていく事で、精神的に安定し、問題行動が減少していったと思われる。また施設で生活する事で、生活リズムが生まれ、お酒やたばこへの依存が減ったと思われる。

行動障害が出現するとその切迫的状況から在宅生活が不可能な状態に追いやられる可能性がある。多職種が配置されている老健施設がバックアップ機能を果たし猶予期間を置き協働支援していく事が重要であると痛感した。

このように、病気や認知症の進行によりプロである我々も混乱や大変な事があります。まして介護をしたことがない方々にとってはかなりの負担となります。大変な時や、不安な時は無理や遠慮をせず介護サービスを利用し、介護の事でわからない事は相談頂ければと思います。今回は関係機関と連携し在宅生活を継続した一例でしたが、今後も認知症や独居高齢者が増える中で在宅生活(その方が望む暮らし)を継続するには施設利用だけでなく、認知症高齢者が安心して暮らせるよう病気の理解、見守り、サポートを行える地域作りが必要となります。

また現在、介護分野は人材不足、質の低下が囁かれています。どうしたら専門人材の育成、機能強化がされていくか現場はもちろんの事、国としても政策や方針についてPDCAサイクル、プランニングをしっかりと実施し結果を生かした政策が施行されていかなければなりません。

前回から連載している介護研究シリーズ2は今回で終了となります。  
お読み頂きありがとうございました。



# 東棟行事紹介

## 五月 ピクニック

十七日に、高崎イオンにて、施設で作った作品の展示会に行きました。

他の施設での作品や、自分たちで作った作品がたくさんあり見ごたえがありました。作品には、自由に頂ける物もあり利用者様方は大変喜ばれていました。

イオンに久しぶりに行った方や初めての方も『広いね！』『前と変わっているね！』など関心して見ていました。



## 六月 ドッグセラピー



七日に、ブレイメンの会の方々によるドッグセラピーが行なわれ、西棟や通所からも、ご利用者様が参加しました。

小型犬は、膝の上に乗せ触れ合い、大型犬は、足下に横たわり静かに撫でていました。犬は少し苦手で遠くから眺めていた、ご利用者様もセラピー犬が近づくと、そっと手を伸ばし『可愛い』と笑顔がこぼれていました。短い時間でしたが、職員も一緒に癒され貴重な体験を楽しんでいました。



## 七月 夏祭り

十九日に、夏祭りを行いました。ご利用者様方で輪になり、力強い声で『ワッショイ、ワッショイ！』と、お神輿を担ぎました。汗をかきながらも、皆様は楽しそうに体を動かしていました。その後、盆踊りを職員と一緒に踊り昔を懐かしんでいました。

おやつでは、思い思いに好きな飲み物を選び、ノンアルコールビールを美味しくそうに飲まれる方も喜びられておりました。



## 八月 涼菓子作り

十七日に、涼菓子作りとして、かき氷作り、ところどころ、皆様に希望を伺ったところ、多くの方がところどころ突きを希望されました。予想以上にところどころが硬いようで、力を込め、『大変だね！』と笑顔で話される方もいらっしゃいました。

かき氷では、好きなシロップを選んで頂き、思い思いの味を楽しまれました。かき氷、ところどころのどちらも『懐かしいね』『昔はよく食べたね』という声が多く聞かれ、とても喜ばれておりました。





# 西棟行事紹介

## 五月 作品展見学

十七日に高崎イオンにて行われた作品展に出かけました。自分達で作った作品を見つけると、「これ私たちが作ったものだね」と笑顔で話されました。他の施設の作品も「すごいね」と感心されていました。



## 六月 ピクニック・

### ドッグセラピー

二十三日、上毛はにわの里公園に行ってきた。天気にも恵まれ、公園内のはにわ、古墳をゆっくりとみて回りました。その他にドックセラピーが行われました、犬をなでたり、抱き上げたりと楽しい時間を過ごされました。



## 七月 スイカ割り

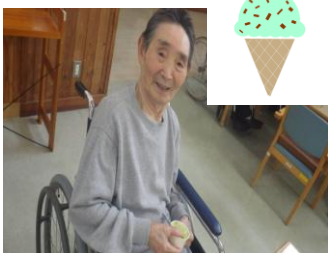
十二日、スイカ割りを行いました。「せーの」と大きな掛け声をかけながらスイカ割を楽しんでおりました。スイカが割れた後はご利用者全員で美味しく召し上がって頂きました。「昔を思い出したよ、何十年ぶりにやったよ」と思い出話に花が咲きました



## 八月 おやつ

### バイキング

八月十六日、おやつバイキングを行いました。バラ・抹茶・小豆の三種のアイスの中から好きな物を選んで召し上がって頂きました。「自分で選んだから美味しいよ。」満足そうに話されていました。







# 通所行事紹介

## 五月 春のパンまつり

「あけぼの春のパンまつり」と名付け（どこかで聞いたことがありますね）お煎餅にアパンマンのシールを付け、パン食い競争を行い、取れたお煎餅をおやつにして頂きました。

もう一つ、3チームに分かれて職員3名が違う歌を同時に歌い、その題名を当てるゲームを行いました。最後は全員がカエルになり、「カエルの歌」を輪唱しました。

（担当 新井）



- ① 玉入れ
- ② 借り物競争
- ③ だるまリレー



## 六月 運動会

少し早めの運動会を行い、紅チーム・白チームに分かれて3つの競技を競いました。中でも一番盛り上がったゲームは「だるまリレー」です。一人一枚うちわを持ってもらい、輪になつてうちわの上に乗せた風船を隣の人へリレーする競技です。全員で協力する競技のため、両チーム心をひとつにして競技に臨む姿が見られました。

（担当 関口）



## 七月 七夕まつり

サブタイトルを☆天の川を無くして織姫と彦星を会わせましょう！☆とし、ゲームを始めました。まず、天の川の中を金魚すくいをしてきれいにしました。次に、天の川に見立てたところ天をついて食べてしましました。川が無くなった事で、織姫と彦星はゆっくりと会う事ができました。どちらのゲームも真剣に行っていて、昔に戻っていた様子でした。

（担当 飯野）



## 八月 夏まつり

金魚すくい・輪投げ・くじ引きの3つの出店を用意し、順に回って頂きました。皆様、童心に戻ったように楽しまれていました。恒例になった「様名音頭」は、職員と一緒に参加して下さいました。利用者様もいて、とても盛り上がりました。

（担当 豊田）





# 新入職員紹介



- ①小川典恵
- ②歯科衛生士
- ③マラソン筋トレ

④先輩や他職種の皆様から色々な事を学び、経験をし、歯科衛生士として前進していきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。



- ①田辺将也
- ②理学療法士
- ③野球 社交ダンス

④楽しく日々の生活を送る為に私にできることを一生懸命考え、皆様のお力になればと思います。



- ①大角哲也
- ②理学療法士
- ③フットサル

④木・金曜日の短時間通所リハビリの担当になりました。利用者の方の困っていることを一緒に解決できるよう頑張ります。



- ①塩浦宏祐
- ②理学療法士
- ③おいしいパスタ屋さんを見つけること

④月・火・水の短時間通所リハビリを担当させていただきます。利用者様が考える目標の達成に向けてサポートしていきたいと思っております。

## 異動

濱名	早苗	あけぼの苑	東棟	→西棟
小林	恵美子	あけぼの苑	通所	→西棟
船津	智哉	あけぼの苑	→榛名荘病院	
芹澤	和也	あけぼの苑	西棟	→ケアセンター

# ボランティア紹介



榛名地区婦人会の皆様



毎年ご来苑いただきありがとうございます。普段とは違う催しに、利用者の皆様はとても素敵な笑顔で楽しまれました。素敵な演芸・作品の展示、ありがとうございました！

### 3施設

## 介護施設見学説明会

八月五日に四学校併せて学生十六名が来苑し、一般財団法人榛名荘の介護施設（あけぼの苑高崎・総合ケアセンター榛名荘・あけぼの苑）の見学説明会が行われました。学生は介護職が各施設でどのような仕事をしているのか学び、見学して頂きました。その後、介護施設で勤めている職員との懇親会が開催され、談笑しながら仕事をする事のやりがいや、榛名荘で勤める事に対しての質問があり職員がご利用者様に接する様に優しく学生に伝える一幕もありました。

あけぼの苑高崎で松澤課長より説明を受けている学生たち



学生問わず見学・施設説明のご希望は気軽にお電話下さい。

## 腸管出血性大腸菌O-157について

毎年暑い季節になると、腸管出血性大腸菌（病原性大腸菌）O-157を中心とした腸管出血性大腸菌感染症が増加してきます。

**腸管出血性大腸菌感染症は、例年8月にその発生のピークを迎えます。今年は特に暑い夏を迎えていますので、腸管出血性大腸菌感染症には十分に注意してください。**

◇家庭の中で予防すべき点をあげてみました。

- (1) 食事や調理前には必ず流水・石鹸でよく手を洗う（食中毒予防の最も重要な基本です）
- (2) 気温の高い時期は「生もの」は控えて、できるだけ火の通ったものを食べる
- (3) わずかな菌量を経口摂取しただけで感染・発病する可能性が高い子どもやお年寄りには、「生」で食べることは避ける。（←全てのウシに腸管出血性大腸菌が存在しているわけではないかもしれませんが、例え存在しても腸管の中に限定されますが、処理の際に、腸の内容物が肉や他の内臓に付着してしまう可能性はゼロではありません）
- (4) 小さな子どもや体の弱ったお年寄りや家庭や職場などで濃厚に接触する機会が多い人も、二次感染を避けるために、肉や内臓の「生食」は避ける。
- (5) 生肉や内臓に触れた箸、包丁、まな板などは、熱湯消毒する。

食中毒というと、レストランや旅館などの飲食店での食事が原因と思われるがちですが、毎日食べている家庭の食事でも発生しており、発生する危険性がたくさん潜んでいます。日頃から気を付けて生活していく事が大切です。

## 今回の表紙

八月五日に開催された高崎まつり大花火大会の写真を大河原施設長が撮影しました。花火を見る事が困難なご利用者様にも楽しんで頂ける様、苑内にも写真を展示しています。

家族とあけぼの苑を結ぶ機関紙「ライフあけぼの」の発行は年3回です。

気づいた点等ありましたら、何でも結構です。お気軽にご意見をお寄せ下さい。

一般財団法人 榛名荘  
介護老人保健施設 あけぼの苑

〒370-3347

群馬県高崎市巾室田町2258-1

027 (384) 8612

027 (340) 5011